

# トホシカミキリ

*Saperda alberti* Plavistchikov

## コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

### 選定理由

本州では稀な種で、本県が西限になると思われる。本県では1例の記録があるのみである。

### 形態

体長は13~20mm。体形はやや細く平行で、前胸背板に4個、上翅に5対の黒紋を持つ。上翅側縁は黒く、体全体が黄褐色の微毛におおわれる。触角は、オスで体長を少し超える。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州。

### 県内分布

白山市白山。

### 生態

成虫は、6~7月にブナ帯のヤナギ類の新しい伐採木や倒木に集まる。幼虫はその樹皮下部分を食する。

### 生息地の条件

幼虫は比較的太い材を食するため、ブナ帯でヤナギ類の大木の林があることが重要である。

### 生存の危機

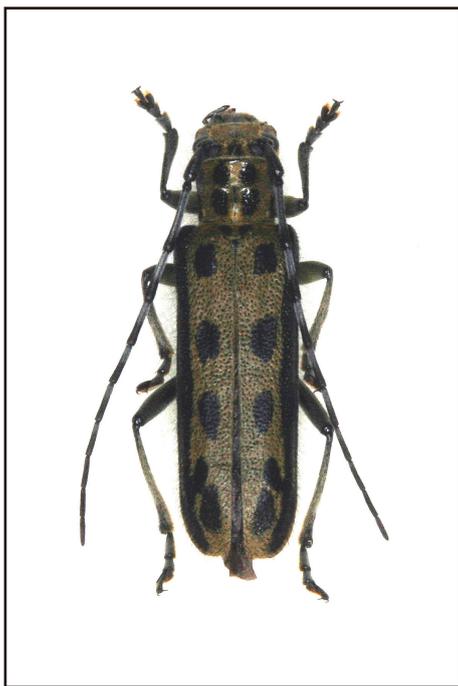
生息地が白山国立公園内にあることから、環境破壊による危険はないと思われる。(A)

### 特記事項

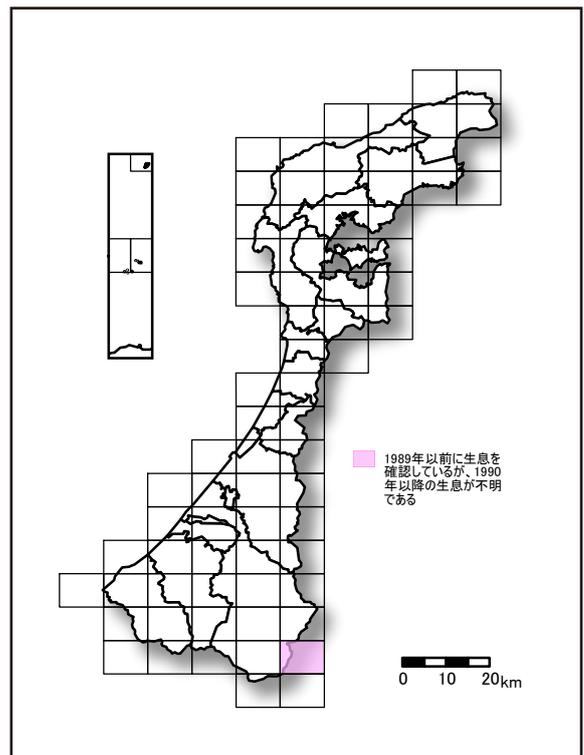
本県唯一の記録は1969年7月22日である。今後、白山山系における調査が必要である。

### 参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.



標本提供者:野中勝



県内の分布